



アジア原子力人材育成会議を開催しました

平成 26 年 3 月 19、20 日の 2 日間にわたり、日本原子力発電(株)敦賀総合研修センターにおいて、国際原子力機関 (IAEA) の協賛を得て、4 回目となる「アジア原子力人材育成会議」を開催しました。

本会議は、原子力人材育成事業の充実を図るため、昨年 10 月に福井県と IAEA が締結した覚書に基づき、IAEA の専門家を招聘し、原子力発電や放射線利用について情報共有するとともに、福井県国際原子力人材育成センターの研修レベルの向上等について協議することを目的としています。

今回は、IAEA および原子力発電や放射線利用の導入を計画するインドネシア、カザフスタン、マレーシア、スリランカ、タイ、トルコ、ベトナムの 7 か国から政府機関等の高官を招聘しました。また、国内からは、国、県、自治体、大学、電力事業者等の原子力人材育成の関係者が参加し、海外・国内併せて計 38 名が参加されました。

冒頭、福井県西川知事と IAEA のパガノネ氏の挨拶、ビチコフ原子力局担当事務次長のビデオ・メッセージによる開会セッションに続き、IAEA や資源エネルギー庁、福井県などによる基調講演が行われました。また、参加各国の原子力発電導入計画や放射線利用の現状などについて発表を行った後、意見交換を行いました。

IAEA ビチコフ事務次長が「原子力分野において福井県と協力を進めていきたい」と福井県と IAEA との連携強化について述べられるとともに、参加者からは「原子力発電や放射線利用の導入には、今後各国が連携して情報共有し、人材育成に取り組むことが重要」との意見が出されました。



西川知事



ブレンダ・パガノネ氏
(IAEA)



基調講演の様子

ポリシースクールを開催しました

平成 26 年 2 月 24 日から 28 日までの間、国際原子力機関 (IAEA)、原子力国際協力センターと共同で、アジア 9 か国の原子力政策を担当する上級行政官 14 名を対象とした原子力人材育成研修「ポリシースクール」を開催しました。

この研修は、福井県と IAEA との原子力人材育成に関する覚書の締結後、初めての連携事業として実施したものです。

講師として IAEA をはじめ国内の大学・行政機関などの専門家を招聘し、原子力・エネルギーの国際情勢や日本の原子力政策など、原子力発電全般に係わる講義を実施しました。また福井県の原子力安全や防災に関する講義に加えて、敦賀市長や敦賀商工会議所による講義および地元原子力関連企業の見学訪問を行い、立地地域が原子力発電と関わってきた経験や知識を紹介しました。

参加者からは、「講義、施設見学、討論など、充実したカリキュラムで、今後の自国の原子力発電導入において有意義な知識を得ることができた」との感想をいただきました。



IAEA 講師による講義の様子



地元原子力関連企業 (プラントテクノス) 訪問の様子

支援制度活用セミナーを開催しました

平成26年3月11日、エネ研において、「第2回支援制度活用セミナー」を敦賀商工会議所の共催、福井県、敦賀市および小浜市の後援で開催しました。

このセミナーは、エネ研がエネルギー研究開発拠点化計画で実施している支援制度などに加え、敦賀商工会議所や福井県の各種支援制度を県内企業に活用いただき、新たな技術や商品の開発につなげていただくことを目的に実施し、県内企業などから、約50名の方が参加しました。

特別講演として、エネ研のヒートパイプの特許を活用している(株)ホクコンの小林代表取締役社長に、同社の技術開発をテーマとして、ご講演いただきました。

また、福井シード(株)より、イオンビームを使った園芸植物の品種改良に関するエネ研との共同研究の成果、支援制度を活用した企業からは、自社の事業や製品開発についての成果が報告されました。



開会挨拶
(旭理事長)



特別講演
(株)ホクコン
小林代表取締役社長



セミナーの様子

福井県国際原子力人材育成ネットワーク協議会を開催しました

福井県国際原子力人材育成センターは、平成26年3月10日、エネ研で福井県国際原子力人材育成ネットワーク協議会（会長＝旭信昭・若狭湾エネルギー研究センター理事長）の平成25年度の会合を開催しました。

この協議会は、福井県が国際的な原子力人材育成の拠点として、国内はもとよりアジアをはじめとする世界の原子力の安全技術向上と人材育成に貢献するため、福井県国際原子力人材育成センターを核に、人材育成機関・研究機関などとの連携の強化、人材育成事業の充実などについて協議することを目的として、平成23年度に発足しました。

旭会長から「昨年10月IAEAとの間で覚書を締結し、平成25年度はIAEAとの共催による研修やカタル政府の要請による原子力防災研修を新たに実施し、アジア12か国から77名の研修生を受け入れるなど、事業の充実を図ってきた。」との挨拶がありました。

会合では、福井県国際原子力人材育成センターや県内大学などが平成25年度に実施した原子力人材育成の状況を報告したほか、平成26年度の取組みについて話し合いました。

出席した国、大学、事業者などの委員からは、「目標を明確にした事業をやるのがよい」、「発展途上国には忍耐強く人材育成をすることが必要」、「福井県に対するIAEAの期待は大きい」などの意見が出されました。



協議会の様子

駐日ポーランド大使の訪問を受けました

平成26年3月14日、コザチェフスキ駐日ポーランド共和国大使、ブワシチャック大使館文化センター長、フィリペクポーランド科学アカデミー教授の一行計8名が、敦賀市長を表敬訪問する際、メンバーのフィリペク教授が、エネ研の見学を希望したことで、訪問が実現しました。

一行は、旭理事長からエネ研の事業などについて説明を受け、懇談した後、加速器を見学しました。



懇談の様子



旭理事長と
コザチェフスキ大使